

2023年度新聞学研究所事業報告

○共同研究プロジェクト

「デジタル化社会の進展における現代日本のジャーナリズムの変容に関する研究」

研究代表者 佐幸 信介（日本大学法学部新聞学科教授）

研究分担者 中 正樹（日本大学法学部新聞学科教授）

山口 仁（日本大学法学部新聞学科教授）

三谷 文栄（日本大学法学部新聞学科准教授）

研究の概要

2000年代以降のデジタル化の進展によって、メディア環境とジャーナリズム実践は変容している。こうした変容は、近年の新型コロナ・パンデミックおよび戦争をめぐる国際的な政治環境の要因も加わり、その度合いを高めている。本共同研究は、こうした環境下におけるジャーナリストの意識と行動の変容に焦点をあてた調査研究である。

ジャーナリスト調査（数量調査）は、これまで日本大学新聞学研究所では2007年と2013年に日本のジャーナリストを対象とした数量調査を実施してきた。今回は、本研究所が実施する第3回目の調査研究となる。また、2013年調査からWJS（Worlds of Journalism Study）と連携するなかで調査研究を進めている。WJSプロジェクトは、世界の多様なジャーナリズム文化の現状を明らかにしようとする、国際的な比較調査研究であり、現在120以上の国と地域が参加を表明し、既に一部の国では調査が実施されている。共通の質問票を使って各国・地域で行われる調査結果はデータプールとして共有され、データの共同利用は、比較ジャーナリズム研究に資源を提供するものである。

数量調査の実施（web調査、2023年10月～12月実施）を行った。その集計結果は、本誌、第22号に掲載している。web調査の方法論は、学術的イッシュである。今後、集計結果や方法論の問題をふまえ、分析的な議論および補完的なインタビュー調査を行う。

「テレビ番組の映像資料を利用した「多様性」等に関する研究」

研究代表者 米倉 律（日本大学法学部新聞学科教授）

笹田 佳宏（日本大学法学部新聞学科教授）

山口 仁（日本大学法学部新聞学科教授）

三谷 文栄（日本大学法学部新聞学科准教授）

研究の概要

本共同研究は2011年3月11日に発生した東日本大震災後のテレビ放送の報道内容を分析し、災害時におけるニュース報道及びほかの関連する映像情報を量的、質的両面から研究する上で必要な基盤整備としてのデータベース構築を目的として、2013年度からその研究を始めた。

2011年3月11日の発災から今日に至るまで、東京キー局（6局）のテレビ映像をJCCのMaxChannelを使用して録画・保存してきた。本研究では、これまで①映像データ保存とニュース及びその他の関連する映像情報の分類をはじめとするデータベース構築のための作業を行い、その上で、②報道内容の質的、量的分析を行い、こうした研究成果の一部は本研究所シンポジウムにおいて公表してきたほか、震災以外の各種テーマに関わる研究・教育にも利活用されてきた。

2020年4月、大学の情報システムがWindows7対応からWindows10対応に変更されたことに伴い、録画・保存システムの大幅な変更を行った。従来は、Windows7対応のMaxChannel3台で録画を行っていたが、これをWindows10対応のMaxChannel2台に集約した。また、従来は、MaxChannelに録画したテレビ映像をHDDに保存していたが、新システムでは本学のクラウド上に保存することとした。クラウド上へのアップロード・保存に関わる作業はコロナ禍の影響により、予定よりも時間を要しているが順次進めている。

クラウドにアップしたことにより、2020年度4月以降のテレビ映像は、より多くの研究者が使用することができるようになった。このアーカイブを用いて、2021～22年度には共同研究プロジェクト「東日本大震災関連テレビ報道10年の検証～映像アーカイブを用いた時系列分析」（研究費としては「法学部共同研究」「放送文化基金助成金」も使用）を行なった。プロジェクトでは震災の発災から現在までの震災テレビ報道の内容、傾向、課題等についてより詳細に検証する作業を進め、シンポジウムを開催したり、『ジャーナリズム&メディア』（18・19号、20号の特集）に関連論文を掲載するなどして成果を展開した。

今年度は、本アーカイブを用いた特定の調査・研究プロジェクトは実施されなかったが、個々の研究者がそれぞれの研究において放送メディアの映像を用いる場合に活用されたほか、院生や学部ゼミ生の研究においても積極的に活用され、映像番組をテキストとして扱う研究や方法論の探求が進展した。

○研究指導

今年度は、夏季休暇期間に集中的に実施した。研究科院生の研究の傾向や課題意識等を踏まえ、東京オリンピックをテーマとしてテレビニュース報道の内容分析の技法を学ぶための研究指導を実施した。

「東京オリンピックをめぐるテレビニュース報道の内容分析」

講 師 中 正樹（日本大学法学部新聞学科教授）

講 師 小林 直美（愛知工科大学工学部准教授）

実 施 日 2023年8月28日（月）・8月29日（火）・8月30日（水）・8月31日（木）・
9月7日（木）

○研究会

「SNSにおける発言しないユーザーの影響力」

報 告 松井 彩子（武蔵野大学経営学部専任講師）

開催日時 2023年11月30日（木）18時30分～20時00分

場 所 Zoomによるオンライン開催

「生成AIがメディアに与えるインパクト」

報 告 平 和博（桜美林大学リベラルアーツ学群教授）

開催日時 2024年1月18日（木）18時30分～20時00分

場 所 Zoomによるオンライン開催